

# 手稲のまちのあゆみ

QRコードから区ホームページにアクセスし、各地区の詳しい紹介や過去に行われた行事をご覧ください。

## 手稲鉄北地区

手稲鉄北地区は、曙地域と前田地域の一部、明日風地域で形成されています。この地区が発展していく基礎となったのは、大正14年に完成した土功（どこう）排水（現在の土功川）でした。この排水路のおかげで、泥炭で水はけの悪かった土地が農場になりました。昭和40年代に入り、山口団地をはじめとする居住地域の開発や、札幌手稲工業団地造成が進み、現在は居住区と工業地域が地区のほとんどを占め、温水プール、図書館、体育館などの公共施設のほか、金属加工や機械製作などの多数の工場が稼働しています。明日風地域は、平成19年の土地区画整理事業によって誕生し、活気あふれる新興住宅地となっています。

**主な行事：**あけぼの夏まつり、山口団地夏まつり、稲山連合町内会盆踊り大会

## 新発寒地区

新発寒地区は、平成元年の西区からの分区前は「発寒」という地名でした。安政4年に在住武士20人とその従者が稲荷街道の両側（現在の発寒神社周辺）に移住したのが始まりで、ワラビが群生する地区でしたが、徐々に農地や酪農地が広がり、昭和42年の札幌市と手稲町との合併のころから鉄工団地や木工団地、発寒住宅団地の造成等が進められました。地区内には2つの川が流れており、中の川では四季折々の表情を見せる手稲山を仰ぎながら桜づつみを楽しむことができ、旧中の川では鴨の親子が戯れ、とんぎょ（ニホンイトヨなど）が生息する姿を見られるなど、自然豊かな住宅地として発展しています。

**主な行事：**雪に親しむつどい、夏まつり盆踊り大会、新発寒地区綱引き大会

## 稲穂金山地区

稲穂金山地区は、稲穂地域と金山地域で形成されています。稲穂地域は明治初期に開拓者が入植したのが始まりで、当時手稲の多くの土地は泥炭湿地の不毛地帯でしたが、稲穂だけは稲作が可能な地でした。かつて星置の一部だったこの地は、稲の穂がたわわに実ることを夢見て開墾に努めた先祖の苦勞をしのび「稲穂」と名付けられました。同じく星置の一部だった金山地域は、かつては国内第2位の産金量を誇った手稲鉾山の繁栄とともに築かれたまちです。明治中期に星置川で砂金が発見されたのが始まりで、昭和10年代には本格的に金の採取が行われ、昭和17年に「金山」と名付けられました。両地域とも手稲山の山裾に位置し、現在は自然環境に恵まれた住宅地が広がっています。

**主な行事：**稲穂連合町内会納涼盆踊り大会、金山地域きずなの会

## 手稲地区

手稲地区は、明治4年に隣接の稲穂地区に4～5戸の移住者がいたこと、同年に隣接の富丘地区に開拓使がサンタロベツ通行屋を設けていたことから、明治初期から開けていたと考えられます。明治13年に小樽の手宮と札幌を結ぶ鉄道が開通し、明治14年には軽川（がるがわ）駅（現在のJR手稲駅）ができるなど、古くから交通の要衝として栄え、昭和17年の学名改正まで軽川と呼ばれていました。手稲の顔の一つであるJR手稲駅は平成14年5月に新駅舎が完成。同時に南北の駅前広場を結ぶ自由通路も完成し「あいくる」という愛称が付けられました。これに合わせて南側では再開発事業も行われ、JR手稲駅周辺は新しく生まれ変わりました。

**主な行事：**ふるさと軽川盆踊りまつり、ふるさと軽川どじょうまつり、子ども盆おどり大会

## 前田地区

前田地区は、明治28年に旧加賀藩主の前田家が「前田農場」を創設したのが始まりです。この農場に皇太子（後の大正天皇）が訪れたことを記念した「東宮駐輦碑」が、当時の歴史を後世に伝えています。地域名称として前田と定められたのは昭和17年4月です。なお、同地区内にある稲積公園などの「稲積」の名は、小樽の稲積豊次郎がこの地で始めた「稲積農場」が由来です。現在は、区内最大の広さを誇る前田森林公園や市内最大級の屋外プールを備えた手稲稲積公園など、公園・緑地が多く、春には軽川や日軽川の川沿いに美しい桜並木が続き、地域の人々を楽しませています。

**主な行事：**前田ふれあいまつり、稲積ふるさと祭り、前田地区まちのお宝活用事業

## 富丘西宮の沢地区

富丘西宮の沢地区は、中の川を境に富丘地域と西宮の沢地域で形成されています。富丘地域は、開拓当初から札幌と小樽の中継点として重要視され、明治4年に開拓使がサンタロベツ通行屋を設け、札幌本府を往来する役人や旅人たちの休憩所・宿泊所として栄えました。西宮の沢を含む西宮の沢地域は、昭和42年の札幌市と手稲町との合併を機に、工場や住宅が建設され開発が進み、平成元年に西区側は「宮の沢」、手稲区側は「西宮の沢」となりました。現在は、両地域の北側にJR函館本線、中央に2つの幹線道路が走り、交通の利便性の良さと豊かな自然環境を併せ持つ住宅地となりました。

**主な行事：**冬のふれあいまつり、中の川桜づつみを歩こう会、不法投棄撲滅啓発パレード

## 星置地区

星置地区は、星置地域と、山口地域で形成されています。星置地域は、明治17年に広島島人33戸が入植したのが始まりで、小樽と札幌を結ぶ交通の要衝でした。昭和60年に国鉄星置駅、平成7年にJRほしみ駅が開設され、一気に開発が進みました。また、山口地域は、明治15年に山口県人14戸が入植したのが始まりで、農業中心の地域です。開拓当初は不毛の地と言われた山口特有の砂地とバツタ被害に大変な苦勞があったとのことですが、現在は地勢を生かした甘みの強いスイカやカボチャを生産し、札幌の特産物として知られています。星置・山口の開拓の歴史を物語る「山口運河」は、明治30年に湿地帯の克服と水上交通のために掘削されたもので、現在では水に親しめる河辺の整備がされ、地域のシンボルとなっています。

**主な行事：**手稲山口運河まつり、きらめく星まつり

# 災害が発生したときのために いざというときに備えて、避難場所を確認しておきましょう。

## 避難場所等について

各施設の所在地は、「公共施設一覧」をご覧ください。

### 指定緊急避難場所兼指定避難所(基幹)

指定緊急避難場所は、災害から身を守るため緊急的に避難する施設または場所です。災害の種類ごと（洪水災害、土砂災害、地震災害、大規模な火事）に指定しています。市立小中学校など、滞在スペースを有する指定緊急避難場所については、災害の危険がなくなるまで一定期間滞り、または災害により自宅へ戻れなくなった被災者等が一時的に滞在する指定避難所(基幹)を兼ねています。災害時の拠点場所となり、備蓄物資等の供給を行います。

施設名	※指定緊急避難場所				施設名	※指定緊急避難場所			
	洪水	土砂	地震	火事		洪水	土砂	地震	火事
手稲中央	○	○	○	○	手稲西	○	○	○	○
手稲山口	○	○	○	○	星置東	○	○	○	○
手稲鉄北	○	○	○	○	手稲北	○	○	○	○
稲積	○	○	○	○	稲積	○	○	○	○
前田	○	○	○	○	前田	○	○	○	○
前田中央	○	○	○	○	前田北	○	○	○	○
前田北	○	○	○	○	新発寒	○	○	○	○
新発寒	○	○	○	○	手稲	○	○	○	○
新陵東	○	○	○	○	稲穂	×	×	×	○
新陵	○	○	○	○	手稲西	○	○	○	○
富丘	○	○	○	○	星置	○	○	○	○
西宮の沢	○	○	○	○	手稲区体育館	○	○	○	×
稲穂	×	×	○	○	北海道科学大学	○	○	○	○

**※表の見方**  
 ○：指定緊急避難場所となる施設  
 ×：指定緊急避難場所の基準を満たさない施設  
 ー：指定対象外の施設（対象とする災害が想定されない施設）

### 指定緊急避難場所(大規模な火事)

大規模な火事が発生したときには、右記の施設も指定緊急避難場所(火事)として指定されています。

施設名
札幌運転免許試験場
手稲稲積公園
北海道科学大学グラウンド
前田森林公園

※指定避難所(基幹)ではありません。

### 指定避難所(地域)

指定避難所(基幹)を補完する役割を果たす施設です。状況に応じて開設しますが、備蓄物資がないため、一定期間は指定避難所(基幹)へ統合されます。

施設名
手稲中央幼稚園
手稲コミュニティセンター(手稲まちづくりセンター)
北海道札幌稲雲高等学校
手稲区民センター
手稲前田児童会館
タケシンスクエアビル(前田4-10)
北海道札幌手稲高等学校
新発寒地区センター(新発寒まちづくりセンター)
祥龍寺 瑞龍閣(稲穂2-1)
稲穂会館(稲穂金山まちづくりセンター)
北海道手稲養護学校
北海道札幌稲穂高等支援学校
金山会館
星置地区センター(星置まちづくりセンター)

### 一時避難場所

地震発生時に避難が必要な場合、一時(いつとき)避難し、身の安全を確保する場所です。または、地域で一時集合して安否確認等を行う場所です。屋外にある区内の全ての公園や市立小中学校のグラウンドなどが指定されています。

施設名
区内の全ての公園
市立小中学校のグラウンド
手稲中央幼稚園グラウンド
札幌手稲高校グラウンド

## 災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生した場合に、NTTがサービス提供を開始する被災地の方の安否を伝えるための声の伝言板です。携帯電話各社でも同様のサービスがあります。詳しくは携帯電話各社にご確認ください。

**録音手順** 「171」→「1」→「自宅等の電話番号」→「録音(例：私は、○○に避難しているので大丈夫です。)」

**再生手順** 「171」→「2」→「自宅等の電話番号」→「再生(同上)」

あらかじめ家族で話し合っ、避難場所など必要な約束ごとを決めておきましょう。

毎月1日・15日に体験利用が可能です▶ [www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/](http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/)

## 防災に関する冊子

地域の災害発生危険度や非常持ち出し品など日頃の備え、避難場所・避難行動などは各種防災マップでチェックして、いざというときに素早く行動できるように準備しておきましょう。



▲区役所1階①番窓口で配布中！

## 札幌市防災アプリ「そなえ」

ハザードマップの閲覧や災害別の避難場所などの防災情報のほか、避難指示等の避難情報や避難所の開設状況など、災害発生時にも役立つアプリです。



iPhone版▲ iOS10.1以上  
 Android版▲ OS4.4以上



※インストール・利用は無料。通信料がかかります。